
0031. 納付書等出力先登録呼出し

業務コード	業務名
UNF11	納付書等出力先登録呼出し

1. 業務概要

入力された輸出入者コードまたは法人番号に対する納付書等出力先情報を呼び出す。

呼び出された情報は、「納付書等出力先登録（UNF）」業務により訂正を行うことを可能とする。

2. 入力者

通関業、輸出入者

3. 制限事項

入力者が通関業で、入力した輸出入者コードまたは法人番号に対する輸出入者について、既に他の代表通関業者が出力先として設定されている場合は、当該輸出入者に対する呼出しは行えない。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

なし。

(3) 国内用輸出入者DBチェック

(A) 入力者が輸出入者の場合

①入力された輸出入者コードまたは法人番号が国内用輸出入者DBに存在すること。

②入力された輸出入者コードまたは法人番号が入力者の輸出入者コードまたは法人番号であること。

(B) 入力者が通関業の場合

①入力された輸出入者コードまたは法人番号が国内用輸出入者DBに存在すること。

②入力された輸出入者コードまたは法人番号が、システム参加していない輸出入者の輸出入者コードまたは法人番号であること。

③入力された輸出入者コードまたは法人番号に、情報出力先利用者コードが設定されていないこと。

(C) 入力者が輸出入者かつ通関業の場合

(A)と同様のチェックを行う。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-0000-0000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 納付書等出力先呼出情報編集処理

国内用輸出入者DBより編集処理を行う。

(3) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
納付書等出力先呼出情報	なし	入力者

7. 特記事項

- (1) UNF業務で代表通関業者を出力先として選択した場合、海上の納付書等は代表通関業者に出力され、航空の納付書等は申告者に出力される。
- (2) UNF業務の納付書等分類と、出力される納付書等の対応は以下の通り。「UNF業務の設定適用有無」列が○の出力帳票及び管理資料について、UNF業務で設定した出力先が適用される（×の出力帳票及び管理資料は、申告者に出力される）。

納税方式	納付方法	出力帳票／管理資料	UNF業務の設定適用有無	UNF業務の納付書等分類
即納	直納	納付書情報（直納）	×	—
	MPN	納付番号通知情報	×	—
特例申告即納 （一括納付対象外）	直納	納付書情報（直納）	×	—
	MPN	納付番号通知情報	○	A
特例申告即納 （一括納付対象）	直納	一括納付書情報 一括納付用明細書情報 一括納付用明細データ 一括納付用明細総括データ	×	—
	MPN	納付番号通知情報（一括） 一括納付用明細書情報 一括納付用明細データ 一括納付用明細総括データ	○	A
個別納期限延長	直納	納付書情報（直納）	×	—
	MPN	納付番号通知情報	○	A
包括納期限延長	直納	一括納付書情報 一括納付用明細書情報 一括納付用明細データ 一括納付用明細総括データ	○	B
	MPN	納付番号通知情報（一括） 一括納付用明細書情報 一括納付用明細データ 一括納付用明細総括データ	○	B
特例申告納期限延長	直納	一括納付書情報 一括納付用明細書情報 一括納付用明細データ 一括納付用明細総括データ	○	B
	MPN	納付番号通知情報（一括） 一括納付用明細書情報 一括納付用明細データ 一括納付用明細総括データ	○	B

- (3) 入力者が通関業かつ代表通関業者でない場合、納付書等出力先呼出情報は「*」でマスクして出力される。
- (4) CSFオンラインメンテナンス規制時間帯DBにて定められた時間帯は業務規制時間帯となり、当該業務を実施することができない。（規制時間帯は別途定めることとする）